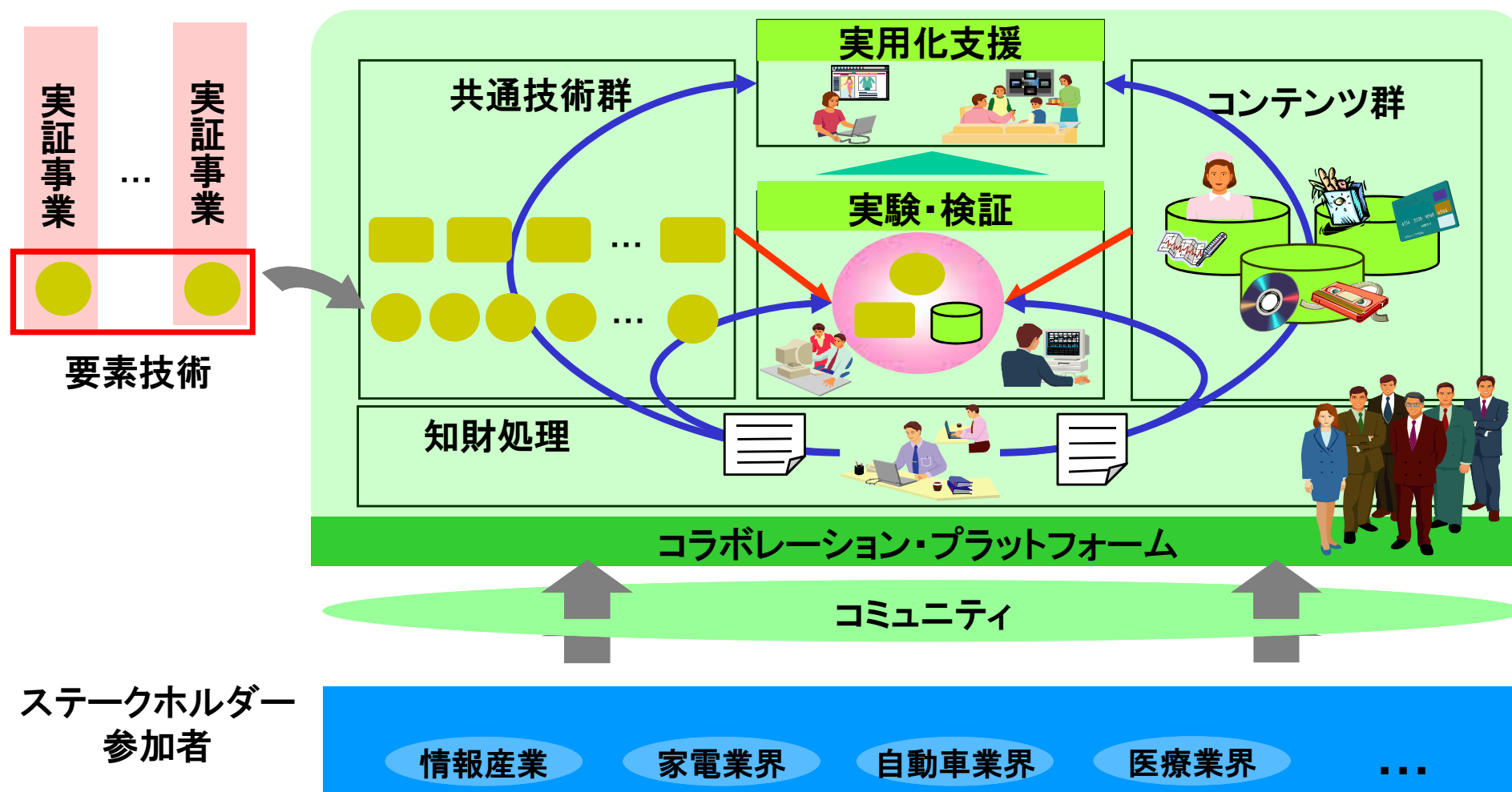


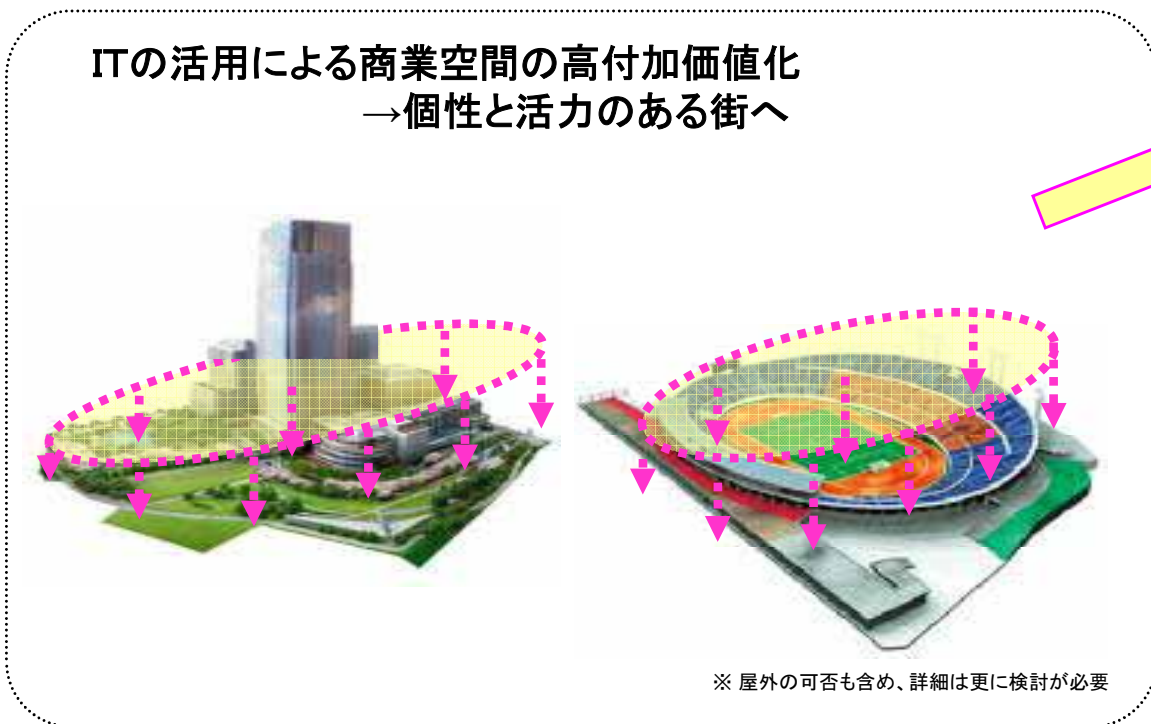
- 次世代検索・解析技術の革新的な開発・普及を加速し、その成果を共有し、更に新たな技術やサービスの創出を図るポジティブなイノベーションサイクルを推進するための場(コラボレーション・プラットフォーム:CP)を整備した。また、CP上に、研究開発を推進するための素材として、共通技術やコンテンツ(映像情報、行動情報等)をコンテンツを整備した。



- 生産性が高いサービス事業を実現するために、情報蓄積・解析等の要素技術群(「要素技術プラットフォーム」)から必要な技術を的確に組み合わせる手法(サービス工学)の研究開発を行うとともに、公的・社会的な分野において実証を行い、その成果を要素技術プラットフォームにオープンな形でフィードバックする。

【例】地域・商業空間分野

空間IT化インフラ
の開発



- ITによる新たな機能
- ・行動履歴に応じた個人向けサービスの提供
 - ・エリア内限定のネット通販
 - ・イベント連動型のコンテンツ配信
 - ・
 - ・

こちらを組み
合わせることで

個人のニーズに
きめ細かく応えるような
新たなサービスの創出

モデルとなる
先導的プロジェクト
の実施